



双葉郡8町村各校の取組と子どもたちの今を伝える広報誌

ふたばの教育

vol.8

2018 春号



特集

各校の子ども
たちのレポート

ふたばの学校生活のいま

イベント
報告

2017年
夏と冬に開催

8町村合同交流会/ふるさと創造学サミット
&ふたば生徒会連合、始動中!



上の写真をこのアプリで読み取ると
関連する動画をスマートフォンや
タブレットで見ることができます!

- ①COCOAR2アプリをダウンロード▶
- ②COCOAR2アプリを起動
- ③\ MOVIE /マークの写真にかざします

右のQRコードを読み込むか、
「ココアル2」で検索してください
・iPhone, iPad: 「App Store」
・Android: 「Google Play」





ふたばの学校生活のいま

双葉郡の各校は、それぞれの町村で、避難先の地域で、日々の学びや行事に活発に取り組んでいます。各校から集まった笑顔や活気に満ちた写真から、地域のふれ合いなどの学校独自の活動を紹介します。

2017年3月をもって、浪江高校、浪江高校津島校、双葉高校、双葉翔陽高校、富岡高校は休校しました。
【詳細はP16へ▶▶▶】

2017年4月
檜葉町で学校再開。

2018年4月
浪江町、葛尾村、富岡町の3町村で学校再開予定。
(浪江町・富岡町の避難先の学校は継続)

FUTABA SCHOOL MAP

(2018年3月現在)

双葉郡の各町村は、各地で学校を運営しています。

- ・帰還し教育活動を実施 8校
- ・避難先で教育活動を実施 16校
- ・休校中 11校

※ふたば未来学園高校(三島長陵校舎)は、静岡県三島市で開校中
※浪江町立幾世橋小学校、請戸小学校、大堀小学校、菊野小学校、浪江東中学校、津島中学校、浪江高校、浪江高校津島校、双葉翔陽高校、双葉高校、富岡高校は休校中

2019年4月
併設中学校開設予定。



9月2日に双葉郡子供未来会議を開催。「新しい中学校はどんな学校がよいか」をテーマに双葉郡内の小学生たちにアイデアを出してもらいました。

1 ふるさと創造学で「地域」を知り学ぶ



「ふるさと創造学」とは、双葉郡8町村がともに取り組む、地域を題材にした探究的な学習。子どもたちの主体性・協働性・創造性を伸ばし、自ら未来を切り拓く力を育むことをねらいとしています。

2 学校間の交流で「双葉郡」を知り学ぶ



地域のつながりを感じ、学校の垣根を越えた仲間づくりをねらいとして、双葉郡の子どもたちの再会や交流の場を設定しています。今年度は新たに、「ふたば生徒会連合」が発足しました。



◀毎年、広野町内の小・中・高校が広野町主催のひろの童謡まつりに参加しています

▶運動会種目の「なりたい職業」をテーマにした仮装レースの様子。最後まで諦めずに走り抜きました



今年の広野小学校は、学校再開以来最高の146名の児童が、道徳研究や少人数教育などの取り組みのなかで様々な授業形態を経験してきました。



◀1年生を迎える会の様子。かわいい1年生と一緒にゲームをしたり、歌を披露したりして楽しい時間を過ごしました



仲間と共に、元気な発表&体験学習!



オレンジジュースで乾杯!

◀2泊3日の5年生の宿泊活動。野外炊飯や体験活動などを通し、友情を深めることや集団行動の大切さを学びました



◀4年生による町内の老人ホーム「広桜荘」訪問。お年寄りの方々と交流しました



▲1年生は、専門家のサポートを受けて地域を題材とした映画制作に取り組み、その成果を発表しました



▼学年対抗の「合唱コンクール」、どの学年もすばらしい歌声を響かせました



▲今年度の文化祭テーマ、スローガン、シンボルマークの受賞者です。広葉祭実行委員会から表彰されました

文化祭で練習の成果を発表



▲2年生演劇発表「超えたい」

みんなで協力してシナリオや小道具をつくりました。

▼今年も魅せた! 広中ソーラン



▼エンジン(円陣)全開! 広野中学生の心が一つに



1ヶ月ほど前から練習して、一体感が出てくるようになりました。

▲迫力満点! 3年生による「広野昇龍太鼓」



双葉郡
広野町
中央台3-1

広野小学校



双葉郡
広野町
中央台3-1

広野中学校

広野町

自分たちの目標へ、 一歩ずつ前へ



▲避難中であってもずっと続けてきた鼓笛。新校舎で初めての演奏となりました

重点目標を「めあてに向かって学び合い やりぬく」とし、少人数の特性を生かした確かな学力の定着を目指しています。

ならはで学び、ならはを愛し、
ランドセルに夢と希望をつめこんで
はばたこう未来へ

を合言葉に教職員一同、子どもたちのために
取り組んでいます。

▼今年度、タブレットパソコンを導入。新しい学習方法で、子どもたちは意欲を持って学習に取り組んでいます



「給食を残さず食べる」という目標を立てて、努力したら達成できたよ!



▲全校生で取り組んでいる「自己ベスト賞」。一人ひとりが自分で達成できそうな目標を設定し、達成すると全校生の前で表彰されます

▼縦割り班での遠足。学年の枠をこえて交流を深めました



縦割り班で食べるお弁当はいつもと違う感じがしてとてもおいしかった!



◀ムシテックワールドを見学した1年生。10名と人数は少ないですが、友達と仲良く遊び、楽しく勉強をしています



▲地域の方にご指導いただいた植葉音頭。小学生、中学生、教職員、地域の方と一緒に踊りました



▲6年生の復興子ども教室では、川内村復興を担う一員として、どんなことができるかを考えました

未来に羽ばたく 子どもたちを目指して



◀運動会へ向けて、川内甚句を婦人会の方々に教わりました。当日は、村の皆さんと一緒に踊りました

▶運動会は、地域の方々の力を借りて盛り上がりしました



▼ゴールした参加者に、手作りのメダルやフルーツを配りました



喜んでもらえてうれしかった!



▲「川内の郷かえるマラソン」では、全校児童がスタッフとして競技に参加した方々をおもてなし



▲村で取り組んでいる醸造用ブドウ栽培にも、積極的に関わりました



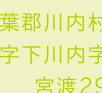
▲3・4年生は田んぼを借りて米作り。できたお米はおもちにして、みんなで食べました

全校児童46名。村のイベントへの参加、「復興子ども教室」を柱としたふるさと創造学に、取り組んでいます。



双葉郡川内村
大字上川内字
沼畑125

川内小学校



双葉郡川内村
大字下川内字
宮渡29

川内中学校

双葉郡植葉町
大字北田字
鐘突堂2-1

双葉郡植葉町
大字北田字
鐘突堂2-1



▼岸博幸教授によるワークショップ。故郷での暮らしで困っていることをどうやって解決するかを考えました。意見を交換すると、よい考えが生まれます!



◀こども園での職場体験の様子。働くことの大変さや喜びなどを学びました



▼介護施設での福祉体験の様子

(教師)入浴介助ということで、恥ずかしがったりしないか心配でしたが、優しく堂々と接していて感心しました。



▼文化祭での植葉天神太鼓の演奏。初めはリズムを打つことで精一杯でしたが、うしお会の方々の指導により、腕の構えや声出しができるようになりました



心機一転、新しい 歴史の1ページ

新しい明るい校舎で全校生
43名がスタートを切りました!

◀老人クラブの皆さんと一緒に植えました。花がきれいに咲きそろうのが楽しみです



▲平成29年4月に帰還した植葉町新校舎の全景(ドローンによる空撮)

自然の中で、 たくさんの発見を重ねて

▼川内中祭「清流祭」。今年のテーマには「百花斉放」を掲げ、生徒それぞれの良さが咲き誇った一日となりました



▼「ふるさと」をテーマに全校生徒が三行詩を作り、『歷程同人』の新藤涼子先生のご指導のもと、連詩に仕上がりました



▲川内村「天山祭り」で、第1学年の生徒が詩の朗読をしました。静けさに包まれる、豊かな緑の中で、村の皆様が子どもたちの言葉一つ一つに耳を傾けていました



いっぱい食べて、午後の練習をがんばりました。

▲夏休みに、バドミントン部は猪苗代で合宿をしました

全校生徒18名。お互いに認め合い協力することを大切に、日々仲良く助け合いながら、それぞれの目標に向けて努力しています。

▼みんな一生懸命、そして笑顔で走り抜きました



川内中生が大活躍!

▶川内の郷かえるマラソン大会では、男子3キロの部で1・2位、5キロの部で1・2・3位に入賞しました





(教師)千葉大生との交流を本当に喜び、若者のパワーが運動会を盛り上げました。

◀遠足では、磐梯山をバックに全員で記念撮影



▲幼小中合同運動会。今年も千葉大生の皆さんが来てくださいました

▼震災前から続く運動会の伝統種目「こいのぼりダービー」



幅広い世代との交流体験！



5年生がリーダーシップを発揮し、それぞれの分担ができた。焼き肉も焼きそばもとてもおいしかったです。

▲全校生で遠足。みんなでバーベキューをしました

全校生11名。平成23年9月から三春町の仮設校舎にて学校を再開。みんな元気で仲良く学習や運動に取り組んでいます。行事は幼小中で一緒に取り組み学校種をこえて手と手を取り合って生活し、運動会などでは富岡の伝統種目やよさこいを全員で行っています。



◀幼小中合同学習発表会でよさこい披露

▶ボランティア活動で集会所を訪れ、町民の皆さんと交流しました



富岡第一・第二小学校



田村郡三春町
大字熊耳
字南原94

富岡第一・第二中学校



田村郡三春町
大字熊耳
字南原94

町の歴史と今を学び、伝えていく

▼学校全体で取り組んだ放射能教育の成果を発表している様子。県教委指定の「地域とともに創る放射能・防災教育推進事業」の一環として行いました



富岡第一・第二中学校は三春町にあります。富岡町と三春町の両町の方々に協力をいただきながら、学びを深めています。

▼三春町にあるコミュタンふくしまでの放射線教育



これからもこの祭りを絶やしたくないという気持ちが深まりました。

▶富岡町の祭りや麓山の火祭りで使用されている大松明を製作



▲3年生が、総合的な学習の時間で3年間調べ続けたふるさと富岡、その集大成を発表しました

▼▶元富岡町菓子店梅月堂の店主から指導を受けて、クッキー作り(2年生)



混ぜるのが大変だったけど、美味しく作ることができて嬉しかったです！



▲「顔晴ろう!大熊っ子!大会」で、4年ぶりに復活した神旗争奪戦。みんなで声をかけあいながら落下傘をとりあいました



▲一人一人が満面の笑みになった修学旅行



みんなが笑顔になり、とても楽しかったです。

◀地域の方と協力してひまわりの苗植えを行いました

▼YAMANEKO楽舎のみなさんと一緒に、きれいな万華鏡をつくりました



自分のオリジナルの万華鏡ができてよかったです。



▲宿泊活動で積極的に行動することを学びました

読書も運動も一生懸命に！

◀サンライト大熊のみなさんと大熊すごろくを使って交流会をしました



読書の町として読書に力を入れており、図書館を使った調べる学習コンクールには全校児童が作品を出品しました。

◀サッカー教室を終えて笑顔になりました



会津若松市
河東町
大田原村中186

熊町・大野小学校

大熊町

大熊中学校

会津若松市
一箕町大字
八幡字門田9-2



今年度の目標は「生命を大切にし安心・安全で信頼される大熊中学校」です。

▼今年度も全校生徒で鶴ヶ城ハーフマラソン大会に参加。全員完走しました



▲20人で作り上げた柏陽祭。みんな頑張りました！



▲今年度は全校生徒が20名まで減ってしまいましたが、力を合わせて頑張ります

▶特設合唱部・吹奏楽部3年生引退記念演奏会



夢のような大人数で演奏でき感動しました。



笑いと教育の会、オーワン・グランプリの初代優勝者は、私たち「みい岩」です。(3年女子)

～ Never Give Up 絶対にあきらめない～

▼「顔晴ろう!大熊っ子!大会」で、大熊中伝統のよさこい・ソーランを披露しました



▲笑いと教育の会が行われ、グループに分かれ「漫才」を発表し、競い合いました

▼「夢応援プロジェクト」で東京大学を訪問。学習ボランティアで来校した東大生と再会を果たしました





▲幼小中合同の学習発表会「梅檀祭」では、下学年と上学年がそれぞれ劇を演じ、町民の皆さんに喜んでいただきました



▲年に2回、双葉町のお年寄り達と「サポートセンターひだまり」で交流活動を行っています



▲埼玉県加須市にある種足小学校の6年生が来校。ビデオ通話での交流は体験していましたが、今回直接会うことでさらに交流を深めることができました

町の皆さんとお祭りや文化をシェア

▼双葉町の伝統工芸品「双葉だるま提灯」と灯籠を製作。オリジナリティあふれる作品が完成しました



▲いわき市立渡辺小学校との交流も2年目を迎えました。稲刈りも上手くなりました



▲3年生から6年生が、中学生と一緒に、梅檀祭で「せんだん太鼓」を演奏しました

太鼓を初めて叩いて難しかったけど、みんなの前で演奏ができて嬉しかったです！

双葉南・北小学校



いわき市錦町
御宝殿56

双葉中学校



いわき市錦町
御宝殿56

全校のみんなで力を合わせて体験

▼毎週木曜日は「全校体育」の日。球技やゲームを通し、楽しく体を鍛えています



▲理科の実験の様子。ドライアイスに水をかけたら、あら不思議！白いけむりが大発生！真剣に、そして楽しく授業に取り組んでいます

▲「ふるさとについて考える」をテーマのもと、総合的な学習で仮設住宅を訪問し、双葉町の一員として感謝を込めて奉仕作業に取り組みました



▲大好きな調理実習。みんなでハンバーグを作りました



手作りのハンバーグはきっと最高だね。先生の分もよろしくね！（教師）

「目標に向けて根気強く取り組む生徒」をめざし、全校道徳、全校体育など、全員一丸となって取り組み、心と体を鍛えています。



▲文化祭に向けて、野村好彦さん、今泉治雄さんのご指導のもと、真剣に練習に取り組んでいます。双葉町の伝統の灯をともし続けます！

▼文化祭本番。小学生とともに力を合わせ、伝統の梅檀太鼓の魂を町民の皆さんに届けました



▲修学旅行では、東京タワーを自分の足で昇ることにチャレンジ！良い経験になりました



▲郡山自然の家で宿泊体験学習を行いました

自然の中で動いてチャレンジ！



夢が叶っちゃった！

◀日本赤十字様にご支援いただき、東京での修学旅行を実施しました

「できた、分かった、やり遂げた！」という達成感、満足感を味わえる活動をしています。

平成25年に開校した三春校も今年度で閉校し、来年度から葛尾村にある本校に戻ります。全児童11名で助け合いながら学び、レベルアップを図っています。

▼休み時間にも自主的に校庭や体育館を走り、体力を高めました。持久走大会では力強く走りきることができました



▲フィールドワークの様子。班ごとに協力して活動し、絆を深めました



▲豊かな自然を生かした「自然発見ビンゴ」。四つ葉のクローバーやキンモクセイなど季節ごとの自然を探しました

▼宿泊学習を通して一回り大きく成長した子どもたち。自分でできることは自分で頑張ります



▲三春校で行う最後の幼小中合同「かつらおスクールフェスタ2017」

▼「葛尾村民運動会2017」は、幼小中合同で行われ、村民の方々と大いに盛り上がりしました



親子二人三脚ではお父さんと息ぴったり！

海外のお友達とも交流を深めて



◀葛尾村営塾では、放課後の時間に1・2年生は週2回、3年生は週4回、学習に励んでいます



▲毎朝、ASAKATSUの時間は読書をしたり、各種検定に向けアプリで勉強しています！

▶アメリカ・ジョージア州の高校生たちと英語で交流。豊かな国際感覚を身につけることを目指しています！



「夢に向かってチャレンジ」を合い言葉に、15名の生徒が力を合わせ、難しいことにも進んで挑戦しています！



◀「ライブ授業」では、プリティッシュヒルズの講師の先生方と楽しく授業をすることで英語力が向上しています



◀昨年度、アトランタ修学旅行でお世話になった国際草の根交流センター主催の「日米草の根交流サミット奈良大会」に参加してきました！

▼オリジナル曲「んだげんちょ」で、リズムダンス全国大会に出場しました



本校HPで動画を視聴できますのでぜひどうぞ！

なみえっ子ファイブは笑顔で活躍中！



▲「なりたい自分に向かって 生き生きと学ぶ 子ども」が学校の重点目標です



▲福島民報主催「子どもたちのゆめプロジェクト」の作文コンクールに全校で応募。学校賞を受賞しました



▲浪江町の「十日市祭」と二本松市の「提灯祭り」を比べ、歴史や人々の思い、願いについて学びました

縁ある二つの地域のお祭りを学ぶ

浪江町の十日市祭と二本松市の提灯祭りを比較・検討し、自分たちに何ができるかを考えていきます。

▼浪江町への元気と笑顔、二本松市への感謝の思いを込めて「みこし」を製作しました



▲浪江町をモチーフに作った「なみえっ子カルタ」での交流

▼運動会では、「なみえ焼麺」をお客さんにプレゼント



浪江・津島小学校



二本松市
下川崎字
三島台1番地

浪江中学校



二本松市針道
字堤崎25



来年はどんな種目やろうかな？

▲春の体育祭「パワーアップ大会」は、生徒会が主体となって種目を決めます。今年も生徒が運営して先生方とともに楽しみました

▼プログラミング学習の一環で開催した「ドローン教室」。試行錯誤して修正を繰り返す活動にみんな夢中になって取り組みました



自分たちで考え、運営する活動を

▼浪江中学校では、年2回「ふるさと浪江講演会」を開催しています。現在大堀相馬焼を世界に向けて発信している松永武士さんをお招きしてお話を伺いました



年齢に近い先輩の活躍する様子に感動しました！



▲文化祭では、ビッグアートをはじめ、総合的な学習、英語劇、ダンス、自主制作映画など、少人数のなかで全力でやりきりました



▲「んまつー波斯」の皆様をお招きして身体ワークショップを開催。ダンスが苦手な生徒たちも照れながら盛り上がりしました



▲初めての広野・猪苗代・三島合同体育祭。生徒も教員も青空の下、思う存分気持ちのいい汗を流しました

初めての体育祭で学校全体が盛り上がりしました。(校長 丹野純一)



▲パン食い競争では、本校スペシャリスト農業系列の生徒が製造したパンを使用

▼今年度で休校となった4校の高校の校旗紹介式。各校の思いをふたば未来学園の生徒が引き継いでいきます



今年で開校3年目を迎え、ついに全学年が揃いました。全校生徒も422名となり、学校に活気が沸いています。

学んで発表しながら福島のことこれからを共有

▼スーパーグローバルハイスクールとしての使命。復興に向けて「福島いま」を世界へ発信しました



ロシア語は発音が難しいことを実感。



▲ベラルーシ研修。英語を使いながら、現地の子どもたちと交流しました

▲東日本大震災の他県の被害状況を知るために、社会起業部が宮城県石巻市の大川小学校を訪問



双葉郡広野町
大字下浅見川
字築地12

広野町

ふたば未来学園高校

富岡町

富岡町

富岡支援学校



いわき市平馬目
字馬目崎61



▲6つのグループの列車をつなげて、おおすげ祭に使う看板を完成させました

今年度より「富岡支援学校」に名称変更になり、中高等部が四倉高校内に移りました。全校生52名は「校舎が離れても心はひとつ」を合言葉に、学習活動に取り組んでいます。

▼小中高の縦割りグループでの活動。列車をイメージした模造紙に、自分たちの顔写真を協力して貼り付けていきました



▲夏休みに実施したPTA主催の親子レクリエーション。流しそうめんを楽しみながら、おいしくいただきました

大好きなドーナツを持って運びました。



おいしかったです。また、四倉高校で料理したいです。

一緒に集って動いてものづくり！

▼5月に実施した小中高合同での運動会。あいにくの雨で体育館での活動になりましたが、それぞれが自分の力を発揮しました



▲作業技能検定の様子。真剣に取り組む姿が見られました

2017年8月10日（土） 双葉郡小学校絆づくり交流会

町村の垣根を越えた仲間づくりを目的に、今年で3回目の開催となりました。
今年はアレンジを加えて、子どもたちがさらに楽しめる内容にしました。

児童170名
教職員他171名が
ビッグパレット
ふくしまに集合！

町村混合チームで
ミニ運動会＆昼食交流！



中のボールを落とさないように、念入りに調整する児童たち



隣の子の指を握って、自分の指は握られないように



1年生と6年生がペアを組んで、ボールを運びました。
1年生の身長に合わせてあげる優しさがGood!



昼食交流には、ゴム跳び、ドッチビー、スナックゴルフなどの
遊びコーナーが新たに加わりました



みんなでゴム跳びできて楽しかった！



今年も、わたあめ、ポップコーン、スイカ割りが大人気

もっと時間が
あったらいい
と思うくらい
楽しめました。

みんなで食べ
たらとってもお
いしかったよ。



自己紹介をし
て、他の小学
校のお友達が
できました。



アイスブレイクでは、緊張がほぐれて自然と笑顔がこぼれました

友だちできたよ！友だちと再会できたよ！



第三回 双葉郡小学校・絆づくり交流会

2017年8月22日（火） FUTABA 1DAY SUMMER SCHOOL

今年はふたばの教育復興応援団のメンバーで作詞家の秋元康さんが全体の
コーディネートをしてくださり、各分野のプロが集まりました。

生徒191名、教職員他168名が
郡山中央公民館に集合！

4つのテーマで夢の
ワークショップ実現

16枚の写真集
写真 × デザイン
蟠川実花さん



「好きなもの、気になるもの、撮っておきたいもの」をテーマに撮った100枚の写真から16枚を選び、自分だけの写真集を完成させました

想像力 × バトル
パフォーマンス × デザイン
宮本亜門さん



グループごとにダンスの振り付けを考えたり、赤ずきんを題材に演出についてグループで意見を出し合ったりと、楽しく交流を深めました

夢と未来のランチボックス
フード × デザイン
三國清三さん



392（ミクニ）個のランチボックス。参加者全員に振る舞うため、真剣な眼差しで取り組む生徒たちの姿がありました

全員で曲を作る
音 × デザイン
久石譲さん



みんなで「リア充」や「ふわふわのかき氷」などの言葉を盛り込んだ歌詞にメロディをつけ、明るい1曲に仕上げました

いろんな出会いと体験で夢ふくらみました！



MOVIE

FUTABA 1DAY SUMMER SCHOOL

伝えあい つながって 広がる

ふるさと ふたばの学び

第4回 双葉郡 ふるさと創造学 サミット

各校の中学生が描いた看板です

2017年12月9日(土) in ビッグパレットふくしま

サミットは、双葉郡全小中高の子どもたちが一堂に会し、「ふるさと創造学」で学んだことを互いに伝えあう場として、年1回開催しています。今年も保護者、地域の方を含め約700人が参加しました。



(左) オープニングでは、双葉郡出身の大学生がふるさと創造学の原点について説明してくれました。(上) 町村や学年の枠をこえて新たな発見や気づきがたくさん! (下左・右) 今年は手作りのみこしを担ぐ体験やすごろくゲームなどアクティビティを取り入れ、学びに楽しむ要素をプラス



(左) クイズ形式で参加者とのやりとりが生まれるように。(上) 意見を伝えあうことは貴重な経験



他校で長いセリフを台本なしで発表しているところがあったすごいなと思いました。(中2)

会場 みんながクイズに答えてくれてうれしかった。(小5)

昨年よりこの学校もレベルアップしてすごいと思いました。それぞれの町への思いが伝わってきました。(小6)

小中学校の発表を聞いて、その町村に行ってみたくまりました。(高2)

知らない人と交流するのも楽しく感じた。(小4)

自分たちの発表では、一人一人がその役目を果たすことができたと思います。練習とは違う雰囲気の中で発表することは大変でしたが、成功することができて良かったです。(中2)

そこまで興味がなかったけど、その町村のグルメや観光地などを知り、今はとても興味を持っている。(小4)

他校生と交流することで、自分の学校だけだった世界が双葉郡にまで広がりました。(中1)

どの学校も発表の仕方が工夫されていて、それぞれの学校の違う感じがおもしろかった。(中3)

他の学校の子とお友達になれてうれしかった。次のサミットのときにも友達を作りたい。(小2)



浪江町



ふるさとの祭りで参加者とながりました



大堀相馬焼の疑似体験ができるよ!

葛尾村



「しみもち」を通して葛尾村の良さを発表



葛尾村の魅力PRのために開発した「絆ガチャ」

みんな違って みんないい! / 各校セッションダイジェスト

各校個性あふれる取組を、さまざまな方法で表現しました

双葉町



バラの花咲く、笑顔の花咲く学校を目指して



体験を通してふるさとについて考えたことを発表

大熊町



クイズやすごろくを通して、誰でも大熊町名人に



町の復興に向けた研究成果をもとに意見交換

富岡町



富岡町の復興を伝えられる大人になるために



ふるさとについての学びの成果をクイズで出題



川内村



復興のパートナーとして村のためにできることは



Café Amazonとのコラボ企画オリジナルクッキーを紹介

楡葉町



未来の「笑みふるタウン」をジオラマで表現



「楡葉町中学生室」発足復興のアイデアをかたちに

広野町



福祉をテーマに私たちにできることを発表



映画制作のメイキングムービーを上映しました



現代社会の課題についての探究成果を発表

ふたばの学校TOPIC

学校を越え協力し発信！ ふたば生徒会連合 活動中

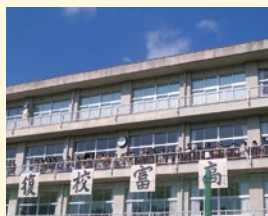


(左上) 7月には、発足して初めて対面での交流が実現しました。(上中) ふるさと創造学サミット開始前に打ち合わせをしている様子。(上右・下左) 中高生交流会やふるさと創造学サミットでの交流企画では、生徒それぞれが役割を全うしました。(下中) 被災地訪問では、募金の寄付先であるピースウィンズ・ジャパンへの目録贈呈式を執り行い、(下右) その後、被害の大きかった地区を見学したり、現地の復興に携わる方にお話を伺ったりするなど貴重な経験をすることができました

メンバーの自主的な 交流会の企画運営や 九州被災地の支援

2017年4月に発足した「ふたば生徒会連合」は、8町村の中学校とふたば未来学園高校の生徒会で構成されています。2017年度は、中高生交流会のオープニングやふるさと創造学サミットのランチタイムにおけるアクティビティの企画運営のほか、九州北部豪雨の被災地支援として各校の生徒会が中心となって募金活動を実施し、集まった募金は代表生徒が福岡県朝倉市を訪問し被災地へ届けました。今後も生徒たちが主体となって活動していきます！

双葉郡の5つの高校の 休校式がありました



双葉郡内の5つの高校は原発事故後、避難先の学校に間借りし授業が続けられてきましたが、生徒の減少により2017年3月をもって休校を決定。各校では惜しまれつつも休校式が執り行われました。(左上) 浪江・浪江高津島校の代表生徒による挨拶、(上中・右) 双葉翔陽の生徒たちが校旗を広げる様子。(下左) 双葉の生徒たちは休校への思いを発表しました。(下中) 校舎に掲げられた「復校富高」の文字。(下右) 富岡の最後の卒業生として寄せ書きをしました

またこの場所で 会えることを 願いながら

「富岡高校休校への思い」
富高(トミコウ)と呼ばれ、町民に親しまれ、育てられた高校の学び舎は一見何事もなく今もそこにあります。双葉地区教育構想のもと、他に例を見ない素晴らしい教育内容でした。巣立った卒業生の思いもそこにあります。町の復興と連動し、近い将来、そこが息を吹き返す事を切に願うばかりです。

富岡高等学校前校長
山崎 雅弘

／ 読者への感想・意見をぜひお寄せください ／

双葉郡全体の取組や本誌に関するお問い合わせ

福島県双葉郡教育復興ビジョン推進協議会 事務局
〒960-1296 福島県福島市金谷川1番地
福島大学人間発達文化学類支援室内
(※2018年4月より移転予定)
電話：024-504-2886 / FAX：024-548-3181
Eメール：futabaeduc@fcs.ed.jp
<http://futaba-educ.net/> 双葉郡教育復興ビジョン 検索

各町村の学校・教育に関するお問い合わせ

浪江町教育委員会 … ☎0243-62-0301
葛尾村教育委員会 … ☎0240-29-2170
双葉町教育委員会 … ☎0246-84-5210
大熊町教育委員会 … ☎0242-26-3844
富岡町教育委員会 … ☎0240-22-2626
川内村教育委員会 … ☎0240-38-3805
楢葉町教育委員会 … ☎0240-23-6190
広野町教育委員会 … ☎0240-27-4166

「ふたばの教育」は、双葉郡各校の取組と子どもたちの今を伝える広報誌です。
8町村教育委員会を中心に構成する「双葉郡教育復興ビジョン推進協議会」が発行しています。

ふたばの教育 vol.8 (2018春号) 2018年2月1日発行 | 発行：福島県双葉郡教育復興ビジョン推進協議会 | 編集：ICT活用・広報委員会(委員長：大熊町立大熊中学校長 早川良一) | 執筆・写真(P3-11)：双葉郡内各校 | 撮影(P12-16)：フィリップ・ジェリーマン(双葉町外国語指導助手)、アンソニー・バラード(双葉町外国語指導助手) | 映像編集：門馬徳夫(浪江町立浪江中学校教諭) | デザイン・制作：青柳徹 | 協力：中尾友子